

ぎかいのとびら

 ひおき市議会だより

6月定例会 主な内容

平成27年8月 第41号

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ● 6月補正予算…………… P 2 | ● 人事案件・条例の審査状況…………… P 11 |
| ● 一般質問…………… P 4 | ● 陳情の審査状況…………… P 12 |
| ● 議会改革特別委員会報告…………… P 10 | ● 所管事務調査結果報告…………… P 15 |



やったー!優勝だー!!(バレーボール伊集院男子チーム)

6月雨量
史上最多

災害対策費

～17億9037万7千円を追加し

追加補正

総額257億8237万7千円～

6月
補正

伊集院文化会館の
新しい舞台照明に

1372万円

老朽化による舞台照明機材購入。



現在の舞台照明機材

ヤッコソウ発生地の保護に

383万円

日置市唯一の天然記念物ヤッコソウ発生地の保護のための法面工事総額1300万円に対する補助。



東市来町稲荷神社裏生息

湯之元第1地区の土地区画整備に

2億5349万円

湯之元第1地区の大里川護岸工事に伴う区画道路施工延長や建物移転補償費等。



整備の進む大里川周辺

道路新設改良に

11億6342万円

- 道整備交付金事業 49カ所 8億5131万円
- 活力創出基盤整備事業 12カ所 1億3万6千円
- 通学路交通安全事業等 2カ所 515万4千円
- 橋梁修繕事業 7カ所 5834万8千円
- 防災・安全交付金事業 16カ所 1億3796万1千円
- 単独事業等 6カ所 1061万1千円



豪雨による災害復旧に

4073万円



6月災害発生状況

(単位:件)

区分	伊集院	東市来	日吉	吹上	備考
市道	27	20	12	20	消耗品費 施設維持修繕料 委託料 工事請負費
河川	7	1		3	
農地		3	5	9	
農業用施設	46	20	9	25	
治山		1		2	
林道			5	2	

6月定例会は、6月11日から7月1日まで開催されました。今回の定例会では、17億9037万7千円を増額する一般会計補正予算などが上程され、審議を行いました。

10月1日オープン
観光案内所に

234万円

観光案内所の運営費に



伊集院駅前に建設中の観光案内所

薩摩藩英国留学150周年
伊作太鼓踊が英国へ

100万円

イギリスでのジャパンまつりへの県無形文化財「伊作太鼓」入来保存会派遣に伴う道具運搬等経費の一部を補助。



一般会計・特別会計

(予算額は1万円未満切り捨て)

会計名	補正予算額	賛否表 (成田議員は議長のため、表決には参加しない)																結果						
		中村	島中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島	中島		田畑	池満	長野	松尾	宇田	成田
一般会計	17億9037万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
公共下水道事業	△59万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民宿舎事業	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
健康交流館事業	260万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
温泉給湯事業	84万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険	0万円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

工場等立地促進補助金

1200万円減額

操業開始1年以内に10名以上の地元正規雇用の要件が達成できなかったため。

宝くじの社会貢献広報事業で採択
防災用具の購入に

200万円

伊集院地域宮脇防災会へ、26品目購入。リヤカー・発電機・テント・保管庫・チェーンソーなど整備。

一般質問

これからどうする! 日置市



6月定例会では9人の議員が登壇し、

日置市の未来を見据え質問を行いました。

より良い市政を目指して



山口 初美 議員

山口 農薬ネオニコチノイドがミツバチにも悪影響を及ぼすことが明らかになり欧州連合（EU）は、使用禁止措置を実施中だが、実態を調査し、対策をとる必要があるのでは。松くい虫航空防除にもネオニコチノイドが使われているが、ヘリコプターを使用するため広範囲に薬剤が広がるので、

質問 1 農薬ネオニコチノイドの使用中止か対策を

【答弁】 安全な薬剤使用等検討していく

橋口

質問 1 セイカ食品誘致の進捗状況はどうか

【答弁】 7月設計、12月着工予定

橋口 正人 議員



橋口 地方創生まち、ひと、しごとは地方が雇用をつくり、人が集まる環境をつくることで、豊かな地域社会をめざしている。昨年協定を結んだセイカ食品こそ、地方創生事業に取り組み中での大きな成果だと思うが、進捗状況はどうか。

市長 7月には設計が行われ、早ければ12月の着工に向けて準備が進んでいる状況である。工事関係には飯牟礼校区の中学生の通学道路でもあるので事故のないよう指導していく。



7月7日 川内原発ゲート前抗議集会

市長 これまでミツバチの被害は、報告されていない。松くい虫の航空防除は事前に養蜂家への連絡を徹底するなど、対策が図られている。各関係機関と十分連携をとり、安全な方法を検討していきたい。

市長 他の方法よりも悪影響が心配される。植物の受粉を助け、野生植物の多様性を維持するために、欠くことのできないミツバチへの影響など考えれば、一時的にでも中止するか、別の方法を検討するべきでは。

質問 2 川内原発再稼働前に避難訓練の実施を

【答弁】 県と協議し8月頃避難訓練を実施したい



「銀天のたまご」のオブジェ

橋口 ①空き店舗を活用し、将来のあきんどを育てるチャレンジショップは、商店街の繁栄と活性化を目的に作られたが、1年5か月を経過した。現在2店舗が入っている。

質問 2 本市の活性化と観光政策を問う

【答弁】 関係機関と連携してすすみたい

市長 「銀天のたまご」の契約が切れるが、今後どうするのか。②大人気となっている日置市バスツアーは3千円で実施している。しかし、実際6千円以上かかっている。金額を実情に合わせ、内容を充実させることが必要と思われるかどうか。市の補助がなくてもバスツアーが実施できるような金額、内容、企画の見直しは考えないか。

市長 ①チャレンジショップの多目的交流スペース活用の継続利用を望む声もあることから、事業継続の是非を含め市商工会等とも十分協議したい。②バスツアーは日置市の観光施設や観光地として認知度が低く、ある程度市がテコ入れを行い周知や情報発信を行う必要があると認識している。

山口 要援護者などの避難計画の進捗状況はどうか。再稼働前に避難訓練を実施すべきではないか。新規制基準が火山の影響に備えるとする川内原発の半径160km圏内には、口永良部島を含む39の活火山がある。

市長 地震や火山の噴火が続いているが、川内原発の再稼働への影響をどう見るか。避難訓練については、県と協議し、8月頃実施したい考えである。九州電力の地震対策及び火山対策は、原子力規制委員会により、新規制基準に適合していることが確認されている。

（その他の質問）
・子ども医療費は中学校卒業まで病院窓口で無料にするめどはついたか
・国民健康保険税は広域化（県で運営）で安くなるか、また、国保の財政は広域化でよくなるか
と考えるか



出水 賢太郎 議員

質問1 指定管理者制度の課題と今後の方針は

【答弁】 施設の民営化も視野に検討する

の实地調査やマニュアルの改訂を行い、チェック体制の充実を図っている。また、利用者アンケートや年1回の管理運営業務評価を行い、改善が必要な場合は、指導または改善勧告を行う。今後は、行政がすべきもの、民間ができるものを精査し、施設の老朽化や利用者の要望も踏まえ、民営化も検討していく。なお、ゆるぶる吹上は当分の間、市の直営でやっていく方針で、老人福祉センターも社会福祉協議会にお願いして...

出水

制度導入後9年が経ち、業者の撤退や倒産、指定管理料の見直し、雇用問題など課題があるが、チェック体制や評価制度の運用はどうなっているか。また、民間譲渡も含め、今後の方針はどうか。

市長

過去に指定の取消もあつたため、2か月1回



島中 弘紀 議員

質問1 日置市の農業政策を問う

【答弁】 荒廃地をなくし、市・県で連携しながら推進する

の悪循環を断ち切るため市独自の方策はないか。③過疎、少子・高齢化が進む中、便利な市街地近郊に住居建設を希望する者が増えている。しかし、市街地に接した農地は農振法で農振農用地に設定され、家屋の建築許可が出ない状況にある。市街地近郊耕作地の農振地除外の考え方はどうなっているか。

市長

①日置市の当事業による農地の利用権設定は、貸出が2件、借受けが5件合計面積は120アールの実績であり、手続きには4か月程度かかる。集積が進まない原因として、登記名簿の整備に時間がかかる事や、貸し出しが長期にわたること等が要因である。荒廃地を作らないこと等が目的であり、中核農家への集積を、市・県で連携しながら推進していく。②国の減反政策は平成30年度産米から、生産者や集

荷業者・団体が中心となり、需要に応じた生産に取り組み。本市では焼酎麴用の加工米や飼料用米に対する国の交付金の上乗せや、流通体制整備への支援などを検討する。③市街地近郊の耕作地における農振除外については、農振農用地の外周部では県知事の同意を求め、除外後の農地転用申請は、農業委員会との連携を図る必要がある。優良農地と宅地開発は反比例するが、街づくりと地域経済の発展を考えながら農振除外しなければならぬ。



市街地近郊の水田

質問2 市道管理の課題とあり方を問う

【答弁】 地元と連携し、適正管理に努める

し、計画的に整備している。雑木の伐採は、法的には土地所有者が行うべきだが、所有者不在など対応が困難な場合は、市で対応する。市道愛護作業は、1万3千人が参加し、550kmを作業していただいているが、残念なことに、26年度中に市道・河川の愛護作業と自治会の奉仕作業で7件の事故があつた。自治会等による愛護作業は自主参加が基本で、強制はしていないが、高齢化や人口減など課題もあるため、自治会等の意見を聞き、検討していく。

出水

市道管理への市民の要望と解決の状況はどうか。雑木が繁茂し通行に支障がある市道もあるが、対応はどうなっているか。また、自治会等が行う市道愛護作業は、過疎化や高齢化で自治会も大変な状況で、さらに事故の危険性も伴うが、どのように考えているか。

市長

26年度は舗装62件、側溝改修52件、蓋設置28件のほか、法面の除草、防護柵の設置など計269件の要望があり、作業班による維持補修や国の道整備交付金事業を活用



市道新山尾堂線

質問1 高校卒業まで医療費助成ができないか

【答弁】 早期に中学校卒業まで助成したい

鹿児島市が来年4月から医療費助成の対象を中学3年生まで引き上げる。本市も近隣市より、さらに踏み込んだ対策を講じなければ、鹿児島市や他市に、若い子育て世代の方や、子どもたちの流出が予想されるが、どのように考えているか。

中村

「子どもを産み育てるなら日置市が1番」と言われるようにするために、医療費の問題は特に重要である。医療費を気にせず医療機関にかかれるように、子育て世代の方々が安心して子育てできる環境整備の取り組みとして高校卒業までの医療費助成ができないか。

市長

本市は昨年10月に小学校卒業まで拡大したところであり、当分の間、様子を見てみたいと思う。鹿児島市では個人負担が、月額2千円ある。他の市町村でも中学校卒業までやっているのだから、財政状況等踏まえ、早い時期に検討したい。医療費の問題は、一歩ずつしていくべきと考えているので、今のところは、高校卒業までは考えていない。

質問2 歴史や伝統文化の顕彰施設が必要では

【答弁】 新しい施設は考えない

市内全域を博物館ととらえ、その中の「吹上歴史民俗資料館」を中核施設としながら4地域に向いていただき、それぞれの史跡や文化的施設をめぐってもらうことが、より地域活性化につながるものと考えている。今のところ財政的な面から、新しい施設の建設については、難しいと考えている。

中村

子どもたちには、郷土愛を持てる、地域に根ざした伝統文化を伝承し、風格ある教育が必要である。また、昨今の歴史ブームや大河ドラマ誘致の取り組み、平成32年の国民体育大会など、交流人口も増えることが予想される。そこで、日置市の一体感を醸成し、総合的に顕彰し、PRできる施設が必要であると思われるが、どのように考えているか。



吹上歴史民俗資料館



大園 貴文 議員

自治会交付金の減額の実態はどうか

質問 1

【答弁】 自治会連絡協議会で了承

本額を充実を図り、世帯割り額を見直し細分化しないか。さらに、県の「わがまちの川サポート推進事業」は、本年度廃止され、河川愛護作業に取り組み、自治会や団体に活動費の補助も無くなり、二重の財源不足が生じている。二級河川の多い本市では、県に事業存続を強く要望し、荒廃防止に努め、市は自治会負担の労力・財源不足の実態を細かく分析し、改善するべきである。また、「わがまちの川サポート推進事業」は、極めて大切なことであると認識している。今後、事業継続の「要望書」を県へ提出する。

市長 従前の自治会育成交付金の課題を改善するため、規模加算額を廃止し、基



昭和45年建設の松山住宅

市営住宅の安全対策について

質問 2

【答弁】 地域住民と協議し検討する

日吉地域の松山住宅について、老朽化で非常に危険な状態である。風水害が発生した場合、住民や近隣に大きな被害を及ぼす状態にあることから、早急に対策を講じ、安心安全な市営住宅の確保を図るべきではないか。

市長

入居中の2世帯は、6月末移転が確定している。今後は、適正管理に努め、住宅マスタープランを見直し、地域住民と協議していく。



坂口 洋之 議員

運営の厳しい国保の現状と課題は何か

質問 1

【答弁】 適正な財源確保までは難しい状況である

一般財源の基金繰入も増額し、財政の安定をはかるべきではないか。一方では、滞納者の納税相談の中での生活困窮の把握と生活支援をどうつなげるかが重要であるが、福祉課等の連携の成果はどうか。 繰越金が3億7千万円で毎年1億円ずつ一般会計から法定外繰入金を実施している。 国保世帯の12・6%にあたる955世帯が滞納世帯になっている。 厳しい現状は認識する。 一般財源の繰入金は25年度から毎年1億円実施しており、他の医療制度との平等性もあり、繰入金も活用しながら現状で運営する考えである。 25年度より生活困窮者支援制度のモデル事業を実施し、16人の内7人が税務課と福祉課の連携で支援されている。

坂口

職員の採用で基準とするのは何か

質問 1

【答弁】 「人物本位」の採用試験を目指している

したいと考え、それは現行の採用試験で達成できているか。 「教養・作文・適正」に加え、「人間性」の見極めも必要であり、直近3年間の1次試験合格者数と地元出身者の採用割合は何人か。 技術職などは民間企業等経験者の採用を積極的に進めるべきでは。 採用後の職員研修等は大事だが、職員の士気向上策としての表彰制度は活用されているか。

市長

①今後の10年間で182名が退職予定、140、150人の採用を予定している。 ②市のホームページや広報ひおき、防災無線等で募集を周知している。 技術職は、大学・高校へも広報している。 ③学力だけでなく、高い使命感、地域密着で市民に信頼される職員を採用したいが、全てを兼ね備えた職員採用は難しい。

県議会議員選挙の投票率の状況はどうか

質問 2

【答弁】 日置市区の投票率は60.29%である

全国的に各種選挙の投票率の低下が指摘され、特に若い世代の低下は、政治に反映されにくくなる危険性も指摘される。 本市の各地域と年代別の投票率の状況は。 特に投票率の低いつづじヶ丘団地のある、麦生田中央投票所は、駐車場も少なく高齢者からも不便という声を聞いた。 つづじヶ丘団地にも新たに投票所を設置すべきではないか。

坂口



池満 渉 議員

人口減少社会で厳しい自治体運営が強いられる。市長の手腕・議員の責任は当然としても、優秀な職員の確保と人材育成は重要課題である。 ①今後10年間の「退職予定者と採用予定者」の数は。 ②応募者が多ければ選択の幅は広がるが、今の職員募集の広報は十分か。 ③どのような職員を採用

平成24年が応募者134人中47人、25年が15



市庁舎



麦生田中央公民館

市長 東市来62%伊集院57%日吉67%吹上61%で、20代31%、30代42%、40代56%、50代66%、60代77%、70代78%、80代以

教育委員、監査委員の 2件の人事案件を同意

黒田 澄子 議員



質問 1 胃ガンリスク検診に
取り組まないか

【答弁】
特定健診のオプション検査
導入を検討

黒田 今や日本では2人に1人がガンにかかり、3人に1人がガンで亡くなる時代となり、国はガン対策基本法を策定し、ガン予防に取り組んでいる。幼少期に胃に住みついたピロリ菌が40年〜50年後に胃潰瘍となりその後にガン化すると言われている。

リスクを大きく抑える事が近年わかってきた。平成25年から胃ガンリスク検診に取り組んでいる和泊町では受診者の45%に陽性という結果が出ており、胃潰瘍になる前に除菌することでリスクを抑えている。本市でも胃ガンリスク検診に取り組まないか。

市長

胃ガンの原因では、ピロリ菌の影響が強い事は認識している。市の委託の健診機関と調整して、特定健診のオプション検査として導入を検討する。



健診車

質問 2 自主防災組織率
100%達成は

【答弁】
早い時期に組織化100%に

黒田 防災対策の自助共助として、自主防災組織は大きな役割を持つがどのようにして100%達成していくか。また、市総合防災訓練に合わせて、各自主防災組織も地元で避難訓練等を実施できないか。災害時の情報提供に市のフェイスブックを活用し広報できないか。

市長

自主防災組織の組織率は77・6%で東市来91・2%、伊集院66・1%、日吉96・7%、吹上77・1%という現状である。今後、組織率の低い伊集院と吹上の未結成自治会に出向き、組織化の必要性や役割を説明しながら、早い時期の100%達成を進めていく。市総合防災訓練に合わせた各地元での避難訓練も検討していく。また今後、市のフェイスブックを活用し、災害状況を広報していく。

議会改革特別委員会報告 議員定数は現状維持に

議会改革特別委員会は12人で構成されており、議員定数の検討について付託され、議会報告会でのアンケート、学識経験者や市内各種団体からの意見聴取も行いながら、委員会を開催し、審議を重ねてまいりました。議員定数についての意見は次のようなものでした。

学識経験者からの意見として、財政や世論だけで定数を決めるべきではない。それに対抗できるだけの理屈と実績を議会・議員がつくるべき。市民との距離を縮める努力、創意工夫が必要だ。各種団体長からの意見として、無投票が問題だ。サラリーマンを辞めてでも出られるような報酬でない、若い人が出られない。若い人が出られるように報酬をあげるべき。市街地区域はよいが、

周辺部は若い人もいなくて、人口減、高齢化が進んでいるので、減らす必要はない。地域課題も大事だが、全市の発展を考えるべき。無投票だったことも問題だ。議員は何より質が大事だ。2名減でもっと勉強して、質の向上を図ってほしい。いずれにしても、8年前に8人の削減を図ったことで、議会運営や市民の意見反映への懸念、今後の人口減少や財政状況を考慮しなければならず、厳しい判断であったことなども述べられました。

以上のような審議を経て、意見の集約を行いましたが、委員長を除き、定員を現状維持とする者6人、減とする者5人でした。

6月議会では、2件の
人事案件が提案され、
同意しました。

人事案件

教育委員(東市来地域)
中島 辰矢氏



監査委員(議会選出)
池満 渉氏



まじのまじ 条例を新たに制定・一部改正・廃止しました

日置市観光案内所条例を制定

伊集院駅にある日置警察署駅前交番横に観光交流の拠点として観光案内所設置に伴い、条例を制定しました。設置目的は、観光情報を内外に広く発信し、市民と観光客との交流の場を提供することです。

(全会一致で可決)

日置市税条例を一部改正

(マイナンバー法施行の改正)
個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆるマイナンバー法の施行に伴い、法人番号、個人番号を記載することになりました。
(たばこ税の改正)
紙巻きたばこ旧3級品(エコー・わかば・しんせいなど)の段階的な引き上げ税率は、平成28年4月1日から4段階で行われることになりました。

(全会一致で可決)

日置市議会会議規則の一部変更

議員は出席のために出席できないときは、日数を定めてあらかじめ議長に欠席届を提出することができ。(全会一致で可決)

この他、5件の条例を一部改正・廃止しました。



「川内原発1・2号機の再稼働に当たって住民説明を求める」陳情を採択 九州電力に要望書を提出しました

賛成 川内原発再稼働に当たっての説明会はすでに昨年10月2日に、安全確保に向けて、住民説明会が開催されている。再稼働についてはすでに決定されており、不安のない市民は少数と思うが、昨年、開催された説明会を思い起こしても、住民から怒号が飛び交い、説明会と言えない状況ではなかった。

賛成 原発事故後も、汚染水や除染物質等の処理体制の課題が残されている。川内原発も30年近く経過し将来の方向性が示されていない。避難計画に沿って湯田地区で訓練も実施されたが「避難ルートなど障害となる要素は多く計画通りに行くとは思えない」という意見を頂いている。九州電力に対し市民の多くが不安を抱いており、原発再稼働について説明会の開催を求めることは議会の役割である。

「川内原発1・2号機の再稼働に当たって住民説明会を求める」要望書

本市議会は、平成27年2月5日付け、日置市在住の原発公開質問の会、町田博文氏より提出された、「川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明を求める」陳情書を第2回定例会第1本会議で採択しております。

この陳情書を採択するにあたりましては、陳情者を参考人招致して陳情の趣旨を確認しておりますが、その内容は原発再稼働の是非とは別に、川内原発1・2号機の再稼働に当たって安全性に取り組む貴社の姿勢や住民の不安軽減に向けて、日置市民に対する説明会の開催を求めるものです。よって本市議会は、日置市民に対する説明会の開催を下記のとおり要望します。

記

再稼働前に、日置市在住の市民に対して川内原発1・2号機の再稼働に当たって安全性に取り組む貴社の姿勢や住民の不安軽減に向けた取り組みについて、貴社の説明会を要望します。

平成27年6月11日
鹿兒島県日置市議会議長 成田 浩

提出先 九州電力株式会社

議長に対して九州電力から口頭で「再稼働前の住民説明会は行わないこととし、引き続き川内原子力発電所内における説明は行ってまいります。」との返事をいただきました。

市民の願い 陳情 のゆくえ

「川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明を求める」陳情書

(提出者) 原発公開質問の会 町田 博文氏 (伊集院町妙円寺)

賛成11・反対10で採択されました。

私たち市民の生命を守るための更なる真摯な議論と県への申し入れについて(陳情)

(提出者) 季節風と放射能を考える湯之元の会 米村 麗子氏 (東市来町湯田)

全会一致で一部採択されました。

一部採択の部分は、「原発再稼働が現実のものになるうとしている今、私たちの心配を取り除き、安心して暮らせるまちにするために、是非、本市議会の更なる真摯な議論をお願いします。」

陳情書 教育予算拡充に係わる意見書採択の要請について

(提出者) 山下 博司氏 (日吉町日置)

賛成19・反対2で採択されました。

賛否表 (○：賛成、×：反対 議長は表決に参加しない)

条例名	可決内容	中村	島中	留盛	橋口	黒田	下御領	山口	出水	上園	門松	坂口	花木	並松	大園	漆島	中島	田畑	池満	長野	松尾	宇田	成田	結果		
日置市観光案内所条例	制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決	
日置市税条例	一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
日置市議会会議規則	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
「川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明を求める」陳情	採択	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	-	-	採択	
私たち市民の生命を守るための更なる真摯な議論と県への申し入れについて(陳情)	一部採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	一部採択
陳情書 教育予算の拡充に係わる意見書採択の要請について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	-	-	採択

その他4件の条例の一部改正と1件の条例の廃止を全会一致で可決しました

国民文化祭バスツアーの文化財・史跡を調査

文教厚生

4月20日、今年11月7日(土)に実施される国民文化祭バスツアーの文化財・史跡等の保護管理調査と所管する養護老人ホーム聖寿園の状況等を調査しました。

伊作城跡

伊作城は、南北朝時代に伊作島津家によって築かれた巨大な山城である。南側に伊作川、西側から北側にかけて深い谷、東側は長大な空堀に囲まれた険峻となっている。

委員の意見

入口駐車場広場に、城の説明、ウォーキングコースの距離や時間、地図などの案内板の設置が望まれる。
伊作城跡から下与倉までの巨大な空堀は、がけ崩れにより埋まってしまっている当時の景観が失われている所があった。
歴史的価値の高い空堀を守る対策を講じるべきとの意見があった。

大乘寺

吉富山大乗寺は、15代島津貴久夫人が建立し、日置島津家3代常久が曹洞宗寺院として再興、菩提寺として廃仏毀釈の時まで置かれた。廃仏毀釈によって寺は破壊されてしまったが、現在は日置島津家の子孫の西郷隆文氏が薩摩焼の窯を構え管理している。

委員の意見

敷地内はきれいに整備されている。
荘厳な雰囲気のうち、薩摩焼のギャラリーもあるのでバスツアー参加者に喜んでいただけるだろう。

養護老人ホーム聖寿園

聖寿園は、伊集院町猪鹿倉に昭和48年開設された養護老人ホームである。定員は55人、現在は47人が入所しており、2人部屋13室、3人部屋10室あり、食堂・娯楽室・浴室が併設されている。
養護老人は、65才以上



聖寿園



大乘寺

陳情書 教育予算の拡充に係わる意見書採択の要請についてを採択国へ意見書を提出しました

【陳情書の趣旨】
子どもの教育の格差が指摘される中で、教育環境の充実を求め、学ぶ意欲の条件整備を求める。

討 論

反対 全国学力テストにおいて、自治体間で財力の差があるにも関わらず、秋田・青森が常に上位を占めています。
OECD諸国と比較する前に、今一度、足元を見つめる必要があり、「教育の原点とは何か」を問い直し、他力を願うだけでなく、与えられた環境で自ら努力すべき。

賛成 教育水準の維持向上と地方財源の安定を図るためには、義務教育費国庫負担制度の堅持が必要である。

また、社会状況の変化により、学校においては子供に対するきめ細やかな対応も必要である。
そんな中で、国の財源確保による教育予算の充実は必要不可欠であり、陳情の5項目の願意は妥当と判断。

〈賛成19・反対2で可決〉

教育予算の拡充に係る意見書

小泉政権の三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられました。その結果、自治体財政が圧迫され、非正規職員も増えています。子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。子どもの学ぶ意欲・主体的なとりくみを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠です。こうした観点から、2016年度政府予算編成において、下記事項が実現されるよう強く要望いたします。

記

1. *OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するために、少人数学級を推進すること。
2. 学校施設、教材、図書、安全対策など教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育国庫負担制度を堅持し、国の教育予算を拡充すること。
3. 世帯収入の違いによって子供たちの教育や進路に影響が出ないように、国において奨学金制度の拡充を図ること。
4. 離島、山間部の多い鹿児島県において教育の機会均等を保障するために、複式学級への予算拡充を図ること。
5. 財務省が求める教職員削減(案)に反対し、少人数指導を充実すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成27年7月1日

鹿児島県日置市議会議員 成田 浩

提出先 内閣総理大臣 安倍 晋三
 文部科学大臣 下村 博文
 財務大臣 麻生 太郎
 総務大臣 高市 早苗

* OECD 経済協力開発機構はヨーロッパ諸国を中心に日・米を含め34ヶ国の先進国が加盟する国際機関です。先進国間の自由な意見交換・情報交換を通じて、1) 経済成長、2) 貿易自由化、3) 途上国支援に貢献することを目的としています。

あなたも、議会を傍聴してみませんか。

市議会は、市の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。

- だれでも自由に傍聴できます。
- 本庁4階までお越しく下さい。
(エレベーターがあります。)
- 前もって届け出る必要はありません。

【問い合わせ】
議会事務局 TEL 248-9435



学校の社会科見学や自治会、PTA 等の研修でぜひ傍聴にお越しく下さい。

第41号の表紙

今回の表紙は、日置地区「県民体育大会選考会」バレーボール競技で、4月から練習を重ね見事優勝を勝ち取った伊集院男子チームです。9月19・20日に開催される県民体育大会に向けて、チームワークを深めながら練習に励んでいます。



ご意見お寄せ

ぎかいのとびら40号に誤りがありました。次のおり訂正してお詫びします。
P5「多子世帯子育て支援のために」
誤 小学生以下
正 小学生未満

編集後記

新たな6人のメンバーでリフレッシュされました。広報編集委員会で私は今回委員長を拝命いたしました。これまで議員生活6年間、広報紙の編集に携わってまいりました。いよいよ7年目に入ります。市民の皆様にとつて開いていただけることを目標に、わかりやすい市政・議会活動をお伝えできるよう努力してまいります。表紙と裏面のみはフルカラー、中身は2色刷りですが、マンネリ化を脱するために特集企画や市民の声・定例会審査での熱心な審査内容も掲載できればと考えます。3月までは長きにわたる子どもをテーマに表紙づくりをして参りましたが、この1年は大人のサークル活動をテーマにしてみたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

(黒田)

《発行責任》 議長 成田 浩
《編集責任》 広報編集委員会 委員長 黒田 澄
副委員長 大橋 正
委員 坂口 園
" " " 中口 洋
" " " 弘初 貴
" " " 紀美 之
" " " 山坂 文
" " " 中口 人
" " " 弘初 子